

開催日時	平成 29 年 8 月 4 日 (金)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担 当 理 事 : ○ 矢後孝昭 委 員 長 : ○ 森安啓司 委 員 : ○ 山口英生 ○ 菅股篤 ○ 岡崎秀祐 ○ 内田幸夫 ○ 中山裕次 ○ 寺本勉 × 勝俣桂樹 事 務 局 : ○ 小林恵美		

矢後担当理事より挨拶

森安委員長より挨拶

議題

1. 活動方針の策定および活動内容の検討について

1) 活動内容について、下記の意見等が出た。

- ・コアメンバー（現委員）以外にも、委員になってもらい、ブロック（支部）単位で活動していきたい。
→若い人が出てきやすい為。
- ・委員会を移動委員会で行い、移動委員会開催先（ブロック・支部）で若い人を入れて行ってはどうか。
- ・何をしたいか？より、準備委員会では何がだめだったのかを考えるべきでは。
- ・本会のイベント（スポーツ大会等）に青年交流専門委員会として出展・参加し、所員さんを連れてきてもらう。
- ・支部会等に出席し、若い人の意見を聞く。
- ・定款を作成する必要があるのでは。
→所員可、何歳以下（過ぎればワザハ）、新規開設から何年以内 等。
→他会でも作成しているので参考に出来る。
- ・次の世代に継ぐためにシステム作りが大切。
- ・サポーター制（制限年齢を過ぎ 2 年間等）を導入するのもいいのでは。
- ・「本会の活動に魅力を感じない」と景観まちづくり専門委員会で行っているキャラバンで意見が出た。
→魅力ある活動を、委員会等へ提案していくのも役目では。
- ・会員、非会員それぞれ、活動の場への出てきてもらう勧誘方法は違ってくるので、方法を考えたい。
- ・具体的な活動内容としては、仕事展（の様なもの）が手が付けやすいのでは。（プロデュース）
→若い人、会員外が出てくるきっかけになるのでは。
→エリア限定ではなく、巡回展がよいのでは。
- ・建築物省エネ法・空き家問題 等、会員の中で詳しい人に聞ける企画等もよいのでは。
- ・新規講習会を受講した人の受け皿としての役目もあるのでは。
→入会后、短期間で退会する人をなくす為。
→仕事を支えられるシステム作り。（経営をサポート）
- ・賛助会の中にも、独立・事務所設立を考えている人がいるのでは。
- ・やってもらいたい事業を、委員会・支部・ブロック等に振っていく。
- ・賛助会の活動もフォローしていきたい。
- ・今、足りないものは、一般に対して建築士事務所の存在のアピール。
→公益的な活動（パブコメを出す等）→行政へのアピールとなる
- ・（一社）かながわ建築事務所協会一級建築士事務所が 1 2 条 5 項等の仕事を取り、若い人達に振り分ければよいのでは。
- ・上層部の固い考えを変えていくのも、役割の一つでは。
- ・東京会の活動
→セミナー開催が主な活動だが、継続している事から横の繋がりが強い。継続する事が大事。
- ・建築士事務所としての活動アピールをしていく。
- ・業界を底上げしていきたい。
→建築士としての地位の向上。
- ・Facebook 等 SNS を利用する。
→オフシャルに出せる情報を掲載する事とし、更新は頻繁に行う必要がある。
- ・マップを作成したい。

・神事協の「のぼり旗」を作成したい。

→事務所や現場に立て、一般の人に神事協の存在を知っていただくと共に、神事協会員にも誇りを持ってもらう為。

2) 活動方針の策定

『横の繋がりをもって、若い人達を育てよう。』（仮）となった。

3) 今後の活動内容

仕事展のプロデュース、神事協ののぼり旗の作成を中心に検討していく。

2. 埼玉会青年部設立記念事業への出席について

1) 参加者について

事務局よりメールにて詳細を送付し、参加していただける委員の方を募る事となった。

2) 会費について

青年交流委専門委員会の予算、活動費より支出する。

3. 日事連全国大会 和創会について

森安委員長・山口委員が参加する事となった。

宿泊費は、青年交流専門委員会の予算、活動費より支出する事が、総財務委員会で承認されたと報告があった。

4. 今後の委員会開催について

6週間に1度程度で開催し、水曜日は外す事とする。

主に移動委員会とし、ゲストを呼び委員の増員も考える。

次回開催について

9月14日（木）16：00～ 大船 又は 藤沢にて行う。（担当：森安委員長）

以上

開催日時	平成 29 年 9 月 14 日 (木)	会 場	藤沢ミナパーク 5 0 1 会議室
出席者 (○)	担当副会長：○小澤勝美 担当理事：○矢後孝昭 委員長：○森安啓司 副委員長：○山口英生 委員：○菅股篤 ○岡崎秀祐 ×内田幸夫 ○中山裕次 ○寺本勉 ○勝俣桂樹 オブザーバー：○鎌倉支部 石原貴司 ○鎌倉支部 瀬田健介 事務局：○小林恵美		

小澤担当副会長挨拶

森安委員長挨拶及び進行

議題

1. 湘南ブロックより参加している方の紹介
 - 1) 鎌倉支部 石原貴司氏
鎌倉支部 瀬田健介氏
 - 2) 出席者の自己紹介
→オブザーバーとして出席していただく方の為に委員の紹介書(顔写真入り)を作成する。(事務局)
2. 山口委員を副委員長に選任を確認。
3. 菅股委員より埼玉会青年部設立記念事業への出席報告(平成 29 年 9 月 6 日開催)
 - 1) 橋本功 前川建築設計事務所社長が講師を務めた、設立記念講演会の内容が充実していた。
 - 2) 埼玉会青年部活動内容について
 - ・2ヶ月に1度の会合
 - ・勉強会、研修会(BIM等)
 - ・パンフレットの作成
 - ・社会貢献事業 等
4. 他単位会の動きについて
他単位会の動きを知る為に、青年話創会 2016(日事連全国大会内開催)参加者対象アンケート及び、単位会の報告書のデータを委員に送付する。(事務局)
5. 「横の繋がりをもって、若い人を育てよう」(仮)のもと、何をしていくか
 - 1) 「魅力ある委員会の活動とは」について下記の意見が出た。
 - ・やりたい事を楽しくやっていれば、若い人達が寄ってくるのではないか。
 - ・不動産関係と絡んだ勉強会(既存住宅状況調査)
 - ・金融の知識は必要な事から、金融関係の勉強会(ローンの仕組み等)
 - ・確認検査機関より講師を招いての勉強会
 - ・定期報告のスキルを上げる勉強会
 - ・長期優良住宅化リフォームのスキルを上げる勉強会
 - ・実務と結びつく事業活動
 - ・建築士会青年部の活動とはきちんと色分けをしたい
 - ・会員向けの業種別、検索機能を構築。
→横の繋がりが出来る。
→協会が便利なツールとなる。
→別な話しとして、デジタルツールだけではなく、横の繋がりを持つためには支部役員・本会委員などになることにより、相互の関係性を築いて相互協力できるようになることもアピールしたい。
 - ・施工者(工務店)と設計者、互いの勉強会。
→単価、コスト調整等。
 - ・中学生の職業体験受け入れ。神事協“職業体験が出来る建築士事務所”。
→若い人を育てる。
→進路の選択肢の一つとして知ってもらう。
 - ・神事協の「のぼり旗」作成に向けて、本会の既存物と擦り合わせながら具体的に動きたい

2) 規程の作成について

次回委員会時まで、委員長が（案）を作成する事となった。
委員会で確認後、理事会に諮ることとなった。

次回委員会

平成 29 年 10 月 26 日（木）16:00 ～ 大和 又は 海老名にて行う。（担当 中山委員）

※開催時間は会場の都合上、変更になる事もある。

以上

開催日時	平成 29 年 10 月 26 日 (木)	会 場	大和市文化創造拠点シリウス 607 小会議室
出席者 (○)	担当副会長：×小澤勝美 ブロック支部委員長：○谷田康司 担当理事：○矢後孝昭 委員長：○森安啓司 副委員長 ×山口英生 委員：○菅股篤 ○岡崎秀祐 ○内田幸夫 ○中山裕次 ○寺本勉 ×勝俣桂樹 オブザーバー：○大和綾瀬支部長 小井口英寿 ○大和綾瀬支部 小幡剛志 事務局：○小林恵美		

谷田ブロック支部委員長より挨拶

森安委員長挨拶及び進行

オブザーバー挨拶・紹介

大和支部長 小井口英寿氏 ・ 大和支部 小幡剛志氏

議題

- 1) 日事連全国大会 和歌山大会 話創会参加報告 (森安委員長)
 - ・ 神奈川会からは、森安委員長 (オブザーバー) と山口副委員長が参加した。
 - ・ 2 回目となり、盛況だった。(130~150 人程)
 - ・ 関東地域では、神奈川・千葉会以外の単位会は参加者が多かった。
 - ・ 建築士事務所の状況等の情報交換ができ、有意義に過ごせた。
 - ・ 11 月 6 日に日事連で結果をまとめるワーキングがある。
 - ・ 山口副委員長には宿泊費補助を行った。

- 2) 話創会 関東ブロック会 (未定) についての意見交換と、今後の話創会への関り方について
 出来上がった話創会の報告結果を会員に周知し、話創会の存在をアピールしていきたい。
 →会員ミーリング等、検討する。

- 3) 「魅力のある委員会の活動」
 やりたい事を楽しくやっていたら、若い人達が寄ってくるのではないか。
 - (1) 勉強会の部
 - ①各支部で計画されている勉強会と絡めて開催するやり方もあるのでは。
→勉強会開催後、若い人と懇談する時間を作る。
 - ②若い人から見た、業務上困った事をテーマにした勉強会。(意見の吸い上げ)
 - ③所員のための、今後の独立に向けての勉強会。
 - ④時代の先端を行っている、設計事務所集団 (建築家 31 人会) を迎え研修会。
 - ⑤知名度がある人を迎え研修会。
 - ⑥この世代の仕事の取り方
→空き家・地域活性化が、今注目されている。
 - ⑦実務的な研修会は、他委員会でやっているのだから、青年交流専門委員会独自のものをやっていきたい。
 - ⑧総合資格学院の合格発表会 (毎年 1 月に開催) でアンケート等を配布し、アピールする。
→賛助会なので、協力体制はある。(これからの会員に向けてのアピールとして)
 - ⑨30~40 代の人に興味を持つ勉強会、研修会。
 - ⑩若い人の間でネットワーク構築。
→兼業の人との交流。

 - ① ~⑩等の意見が出た結果『既存の建物をリノベーション』するワークショップを行う事となった。
→グループで、既存建物の図面から耐震・省エネも含めたリノベ案を作成し、不動産評価まで行うような内容で進めていければ。
→まず 1 回目は委員会内で行い、調整しながら方向性を定めて、その後『こんな事やりませんか?』と青年対象会員に参加を呼びかけ 2 回目を開催する。

(2) イベントの部

- ① 中学生の職業体験受け入れ等で、建築士事務所・施工・住宅メーカーの違いを教えていきたい。
のぼり作成について、まずは提案することからはじめることとした。
提案が通り、他委員会等で作成するところが無かった場合に、青年交流専門委員会にて今年度中に、各事務所が使用できる『のぼり』の版を作成する事を考えた。
企画書を1月の総財務・理事会に諮る事となった。(企画書作成 中山委員)

オブザーバーから

- ・内容がおもしろい。
- ・若い人も参加しやすいのでは。

4) 規約の作成について

委員長が(案)を作成し、委員にメールで配信し確認する事となった。
→11月10日の総財務委員会・11月17日の理事会に諮る。

5) 平成30年度予算・事業計画について

事業計画：『既存の建物をリノベーション』するワークショップ
職業体験

予算：事業活動費
企画検討費
のぼりの販売

→事務局にて「たたき台」を作成し、委員にメールで配信し確認する事となった。

6) 会誌「日事連」平成30年1月号掲載「新年の初夢」執筆者選定

菅股委員に決まった。

7) その他

オブザーバーで参加された小幡氏より、「前年度まで準備委員会」で参加していたにもかかわらず、専門委員会設立にあたって声がかからなかったのはなぜか、準備委員会のメンバーには声をかけるべきだったのではないかとの意見があった。

→谷田ブロック支部委員長より、明日(10/27)の統括委員長会で報告する事となった。

次回委員会

平成29年12月7日(木)16:00～伊勢原にて行う。(担当 内田委員(中ブロック))

以上

開催日時	平成 29 年 12 月 7 日 (木)	会 場	伊勢原シティプラザ 4 階女性活動室
------	----------------------	-----	--------------------

出席者 (○)	担当副会長：×小澤勝美
	担当理事：○矢後孝昭
	委員長：○森安啓司
	副委員長：○山口英生
	委員：×菅股篤 ○横山尊重 ○岡崎秀祐 ○内田幸夫
	○中山裕次 ○寺本勉 ○勝俣桂樹
	オブザーバー：○伊勢原支部長 藤川好一
	事務局：○小林恵美

矢後担当理事より挨拶

森安委員長挨拶及び進行

議題

1) 平成 30 年度予算・事業計画について

(1) 事業計画について

下記①～③の事業計画を総財務委員会に提出したとの報告があった。

①「限界耐力計算法」講習会

青年交流専門委員会で予算を付け、他委員会主催で開催する。

→ブロック支部委員会に検討依頼書を提出済。

②「既存の建物をリノベーション」するワークショップ

2 回開催。1 回目は委員で行い、調整しながら方向性を定める。青年対象会員に参加を呼びかけ、2 回目を開催する。

③職業体験（受け入れ）体制作り

中学生等の職業体験を受け入れる体制を作る。

(2) 予算について

上記の事業と、企画検討費、のぼり製作（販売）を入れた予算要求案を総財務委員会に提出したとの報告があった。

2) 規程の承認について

理事会に諮った規程が承認されたので、平成 29 年 6 月 15 日付での制定となった事の報告があった。

3) 活動内容の検討について

(1) 委員の募集・委員会の周知方法について

・オブザーバーより意見を出してもらい、委員は委員会の土台作りをしっかりとしていく。

・2～4 名の委員増員をしていく。

・事業内容に適した人を、ブロック（支部長）に推薦してもらおう。

→特に川崎支部、県西支部、賛助会（オブザーバー）から選出。

・総合資格学院の合格発表会に森安委員長が出席する事から、状況の視察をし、所員の立場として参加している人に委員会を周知してもらおう事となった。→将来的に入会してもらおう事に繋がる。

⇒支部長に委員の募集、賛助会にオブザーバー募集の依頼をする。（たたき台作成 12 月中：事務局）

(2) 「既存の建物をリノベーション」するワークショップについて

<題材候補例>

○一般建築 ・木造 ・S 造 ・RC 造 （※省エネ基準時期ごとで選定等）

○有名建築 ・前川國男自邸（前川國男）：木造 1942 年

・塔の家（東孝光）：RC 造 1967 年

・聴竹居（藤井厚二）：木造 1927 年

・シルバーハット（伊東豊雄）：RC 造—S 造 1984 年

・サヴォア邸（ル・コルビュジエ）：RC 造 1931 年

・イームズ自邸（チャールズ&レイ・イームズ）：S 造 1949 年

・ファンズワース邸（ミース・ファン・デル・ローエ）：S 造 1950 年

<方法>

- ・既存図面と写真を入手
- ・現地が見学（測定）できるところは調査
- ・既存の温熱性能を明示する
- ・目標にする性能を検討する（H28 基準省エネ、独自性能指標等）
- ・上記を満たす改修計画を立案（施工も勘案しコストの計画も出来ると良い）
- ・調査レポートリーフレットを作成し、WEBに掲載（要確認 著作権）

⇒企画書を作成する（12月中 担当：寺本委員）

- ・内部的な勉強会方向で進める。
- ・パネルを作り、仕事展等で掲示。
- ・まずは委員会内で行い、結果をみて今後の開催等を考える。
- ・賛助会にも協力を要請する。

(3) のぼり作成について（担当：中山委員、内田委員）

- ・非会員との差別化、協会の周知の為に企画を進めていく。
- ・協会名を大きく入れる。
- ・神事協のマークも入れる。

(4) 職業体験（受け入れ）体制作りについて

- ・小中学校問わず、受け入れをした事がある事務所からリサーチ（内容を聞く）する事から始める。
→会員向けにアンケートを行う。（たたき台作成：森安委員長）
別に委員各自にて、独自にリサーチも行う。

4) 移動委員会における事務局員出席について

基本的に専門委員会には事務局員は出席しないとなっている事から、移動委員会出席について事務局内にて疑義があがったとの報告があった。
→青年交流専門委員会の特性として、本会ルール等の確認を行いながら進める必要がある等の事から、事務局員の出席を要請する事となった。
→森安委員長が要望書を作成し、担当副会長・ブロック支部委員長・担当理事にご確認いただき、正副会長会に提出する事となった。

5) 藤川伊勢原支部長（オブザーバー）より挨拶

次回委員会

平成 30 年 2 月 1 日（木）16:00 ～ 相模原にて行う。（担当 寺本委員（相模原ブロック））

以上

開催日時	平成 30 年 2 月 5 日 (月)	会 場	逗子文化プラザ 市民交流センター
出席者 (○)	担当副会長：○小澤勝美 副 会 長：○大和田優 担 当 理 事：○矢後孝昭 委 員 長：○森安啓司 副 委 員 長：×山口英生 委 員：○菅股篤 ○横山尊重 ○岡崎秀祐 ○内田幸夫 ○中山裕次 ×寺本勉 オブザーバー：○川崎支部 長友寛昌 ○神事協・神奈川賛助会会長 安藤彰彦 ○タロンマテックス(株) 森尻正志 ○ニチハ(株) 東豊 ○エスケー化研(株) 山本晃裕 ○ケイミー 横山大樹		

- 1) 委員・オブザーバー紹介ほか、支部よりの推薦状況の確認
 - 川崎支部より 1 名の推薦。(長友 寛昌氏 ・(株) 4 d p 長友研究室一級建築士事務所)
 - 委員委嘱は理事会承認待ちの状況。それまではオブザーバーとして参加予定
- 2) 事務局の参加見送りの件及び議事録作成の方法について
 - 移動委員会については本会協議の上、正副会長等がオブザーバーとして参加することに決定した。
 - 議事録については、委員の中で順番に作成することを行う事とした。(今回は横山が担当)
 - 青年交流委員会は多くの課題、あいまいな事項を検討することが多く、議事録作成が難しいので議事録だけで内容把握するのは難しい点をご理解いただきたい。
- 3) 委員会検討依頼回答の件 (状況)：纏め意見を統括委員長会に提出する。
 - 木造専門委員会や未来に繋げる事業専門委員会など他委員会とも密接に意見交換をしながら進めるようにしたらどうかと大和田副会長から提案があった。
 - 活動に関して、一定の予算があって予定を作ることができるので、現在の活動予定の点からもご理解いただきたい旨の説明を行った。
- 4) 来年度の予算の状況
 - 2/16統括委員長会にて最終確認。3/16理事会にて承認予定。
- 5) 活動内容の検討について
 - (1) 委員の募集・委員会の周知方法について
 - 総合資格学院の合格発表会に森安委員長が出席、状況の視察結果報告。
 - 来年度以降、神事協としてのアピールの仕方を考える必要がある。(青年交流専門委員会の範疇ではないと思われる)
 - (建築士会はブースを作っている、協賛(?) 企業等が資格者の一本釣りをしている)
 - (2) 「既存の建物をリノベーション」するワークショップについて (担当寺本さん欠席)
 - 30年度中に当委員会にてワークショップ実施し内容を具体化し、翌31年度に会員へ向けたものへとしていく。
 - 安全協会の補助金活用や実務へとつなげる仕組みづくりの検討が必要。
 - (3) のぼり作成について
 - 次回、具体的な案の提示
 - 各地域での露出を考えて、利用方法の模索をする。
 - 支部間でも統一のぼりの利用については検討が行われているので、継続提案をしていければと思います。
 - のぼりのデザイン上、どこかに企業名を入れ込むなど賛助会会員の参加の仕方について2/21に賛助会会議の議題にあげて頂く。(安藤会長)
 - (4) 職業体験 (受け入れ) 体制作りについて
 - 目的：設計事務所として、職業体験をしてもらう事で建築に関心を持ってもらい、建築を進路の一部として考えてもらいたい。基本的な対象は中学生以上

→ターゲットをどこにするかも含めて検討必要。

藤沢工業高校・日大生物資源科学部へのアプローチなど参考事例あり

→各自治体への職業体験の方法等について調査が必要と思われる。

→すでに関わっている設計事務所もあると聞くので、方法論、カリキュラム等についてアンケートが出来れば行いたい。

6) 東京会 青年部会 新年会参加と状況の報告

→参加者の1/3程度が賛助会員で積極的に意見交換がなされている。

当委員会でも今回から賛助会員の方々に参加いただいている。

青年交流専門委員会では、協会員・賛助会員立場は関係なく意見交換ができる場としたい。

今回は賛助会より5名の参加をいただきました。賛助会の企業内の青年世代が参加されることで、密接な横の繋がりを持ち、製品へのアピール方法の模索、技術向上のヒント等につなげていただければ幸いです。また、会員においては賛助会の持つ製品に触れる機会を多く持ち、知識を深めて新たな使い方や意見交換を行う事で事務所としての技術力向上に役立ててもらえればと思います。

青年交流の場ですので、賛助会参加の方にも積極的な発言をしていただければと思います。

今回から参加の方の画像・プロフィール作成をお願いします。

次回委員会 平成30年3月22日(木) 16:00～ 相模原

3) その他

- ・ 神事協の他委員会で主催している、イベント（見学会、まちあるき等）は、参加してみるとおもしろいものが多いので、アピールの場にもしていきたい。（イベントの周知）
- ・ 委員紹介にオブザーバー（賛助会）も掲載する。
→ 次回委員会までに、事務局にて作成する事となった。
- ・ 賛助会定例会で、青年交流専門委員会の活動を報告し、活動内容によって協力できる賛助会員に参加してもらう事を提案した。
- ・ 他委員会と協力し合うこと積極的に検討していきたいとの話があった。
- ・ 次年度予算について、理事会承認があったとの報告があり、次回委員会にて内容精査する事とした。

4) オブザーバーより

- ・ 「既存の建物をリノベーション」するワークショップについて、戸建専門・店舗専門にやっている事務所を混ぜて用途変更等もおもしろいのではとの意見が出た。
- ・ 「のぼり」作成について、デザインを公募するのもあるのではとの意見が出た。
- ・ 「のぼり」デザインについて、形（四角ではなく）を変えるのもあるのではとの意見が出た。
- ・ 青年交流専門委員会の活動を初めて知った。知れる機会がもっとあるとよい。業界だけではなく一般の人にも知ってほしいと思った。
- ・ 建築離れが言われているなか、将来を考えて、とても良い活動だと思った。

以上

次回委員会 平成30年5月10日（木）16:00～ 川崎

開催日時	平成 30 年 5 月 10 日 (木)	会 場	ミューザ川崎シンフォニーホール 会議室 3
出席者 (○)	担当副会長：×小澤勝美 ブロック支部委員長：○谷田康司 担当理事：○矢後孝昭 委員長：○森安啓司 副委員長：×山口英生 委員：○長友寛昌 ○菅股篤 ×横山尊重 ○岡崎秀祐 ×内田幸夫 ○中山裕次 ○寺本勉 ○青木一高 オブザーバー：○タキロンテックス(株) 森尻正志 ○ニチハ(株) 東豊 ○エスケー化研(株) 山本晃裕 ○ケイミュー 横山大樹 川崎支部：○理事 永島優子 ○川崎支部長 柏木健司 ○目羅誠 (ホロステザインシステム)		
谷田ブロック支部委員長より挨拶 森安青年交流専門委員長より挨拶 矢後担当理事 進行			
1) オブザーバー紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・永島理事 (川崎支部) ・柏木川崎支部長 ・ホロステザインシステム 目羅氏 			
2) 活動内容の検討 A/B/C 各チームによるテーブル討議 A チーム「既存の建物をリノベーション」するワークショップについて B チーム「神事協のぼり」作成について C チーム「職業体験 (受け入れ)」体制づくりに関して、青年交流専門委員会年間スケジュール及びイベントについて			
3) 6 月 1 日開催の神事協総会・委員会報告の時間割及び概要について 青年交流専門委員会は 7 分の持ち時間を予定し、パワーポイントを用いて活動報告を行う事となった。内容については、「青年交流専門委員会は横の繋がりを重要視し、青年 (若手) を育てていくことを目的としています。次世代 (青年・若手) の活動活発化と該当世代の会員増強を目指し、「楽しく活動を行っていけば人が集まってくる」をモットーに色々なテーマを作って検討する」より、各 3 チームの活動内容を紹介していこうと考えています。			
4) 賛助会への委員会活動報告について オブザーバー参加の賛助会メンバーが、賛助会理事会等において積極的に青年交流委員会の活動をアピールし、当委員会に参加したい会員がある場合は適時参加していただけるようにする。			
5) その他 別紙資料参照			

【タイトル（仮）】

古くなったすっごく有名な住宅建築を本気でいじり倒してみる

青年交流専門委員会

2018年5月10日バージョン案

まだ崩壊・破壊されていない（失礼）有名住宅建築が、県内もしくはその周辺にはなかなかどうしてしぶとく残っています。

それらは、夏は暑く冬は寒い中でいまでも刺激的な居住を楽しませてくれるもの、レアアイテムとして移築保存され一部の建築マニアの愛玩物として一目にさらされている羞恥プレイ状態のもの、中には放置プレイで世の中のトレンドキーワード（空き家対策）として存在感たっぷりに壊されてたまるかと粘っているものなどがあり、多くの建築オタクを楽しませていることと思います。

このような、できたてほやほやのときの輝かしさが時間とともにかぐわかしい建設当時の時代の匂いを漂わせつつ生き延びている逞しい住宅を、もう一度現在のステージにあげて煌びやかなスポットライトを浴びさせてみようというのが、今回の諸兄諸君の使命になります。

但し、好き勝手になんとなくでやるのではなく条件があります。おこがましいことに大先生方の作品に手を出してしまう訳ですから、大先生の面目を立てつつそれなりにカッコいいことをしなければなりません。そして、実は我々も専門家ですので、実際に実現できるリノベーション計画とそのコストまで提示して建築士事務所集団らしい姿を見せて次世代の担い手にいいところを見せていかねばならない使命があります。（いわゆる会の魅力向上というやつです。）

そして、どうせやるなら楽しくほど良い充実感でやっていきたいと思いますので、ジョークやときにはブラックユーモアもありでこの企画をマジメにしゃぶり尽くしていきたいと思います。

では、皆さんに課せられるミッションを使命書で確認してみましょう。

使令書

5つのミッション・イン・ポッシブル・アーキテクト

【ミッション1】

大先生の面目を立てること。

設計主旨やその建物の由来、その価値などオーセンティシティー（*1 を読み解き計画にきちんと継承していくこと。

【ミッション2】

現在とこれから先ある程度の期間で想像されるライフステージやライフスタイルを考慮（ペルソナを設定してもよい）して計画に反映すること。（社会的耐用年数評価（*2 など）

【ミッション3】

これからトレンド化していく中古流通市場において、膨大な数になるであろう物件情報のなかで光り輝く魅力的な建物になるようなブランディングをすること。特に現状の法定耐用年数（*3 と立地等からくる相場感のみの市場評価を打ち砕くような魅力（経済的耐用年数評価（*4 など）を発現させること。

【ミッション4】

せっかくリフレッシュしても経年美化・価値の維持がされなくてはこれからの建物は評価されません。保全と価値向上のプログラムを組み込むこと。

【ミッション5】

関わったメンバーのオリジナリティを表現すること。

では、諸君の健闘を祈る。

（*1 オーセンティシティー：遺産の歴史的価値の判断指標の一つ。「真実性」と解される概念。

世界文化遺産登録の際には、このオーセンティシティーが重要視される。

（*2 社会的耐用年数：経済的（物理的要因、社会的要因、経済的要因）耐用年数のひとつ。

所有者の意向に影響する。（美観的、間取り・生活感など）

（*3 法定耐用年数：税法で規定されている耐用年数（木造 22 年、RC 造 47 年）

（*4 経済的耐用年数：経過年数+経済的残存耐用年数

平成30年度事業計画書

青年交流専門 委員会

事業名称 「神事協」のぼり制作	
当該事業に係る収入予算 (a)	80,000円
〃 支出予算 (b)	80,000円
〃 収支予算 (c) = (a) - (b)	0円
事業計画内容	
①主旨	
<ul style="list-style-type: none">・ (一社)神奈川県建築士事務所協会のエンドユーザーへの認知度アップ。・ 事業者名を入れることにより非会員との格付化を図る。・ 事業所や現場等に設置することで多くの方に興味を引くことができる。・ 本会や地域のイベントにおいて存在をアピールすることができる。・ 賛助会との協賛により相互のPR効果を図る。	
②プロジェクト工程(別紙工程表参照)	
<pre>graph TD; A[デザイン募集] --> B[デザイン決定]; B --> C[のぼり旗配布];</pre>	

③募集要項(別紙参照)

- ・のぼり旗のサイズは縦 1800mm×横 600mm の標準サイズ。
- ・エクセル作成にてお願いします。
- ・神事協旗のデザインを入れる。
- ・事業者名を入れる（英語表記の事業所を考慮して横書きが望ましい）。
- ・オプション用の賛助会スペースを考慮する。
- ・キャッチコピーや画像は肖像権に注意する。
- ・募集期間は6月1日から7月5日までHP・メール等で告知する。
- ・デザインの決定は青年交流委員会にて行い、理事会にて承認する。

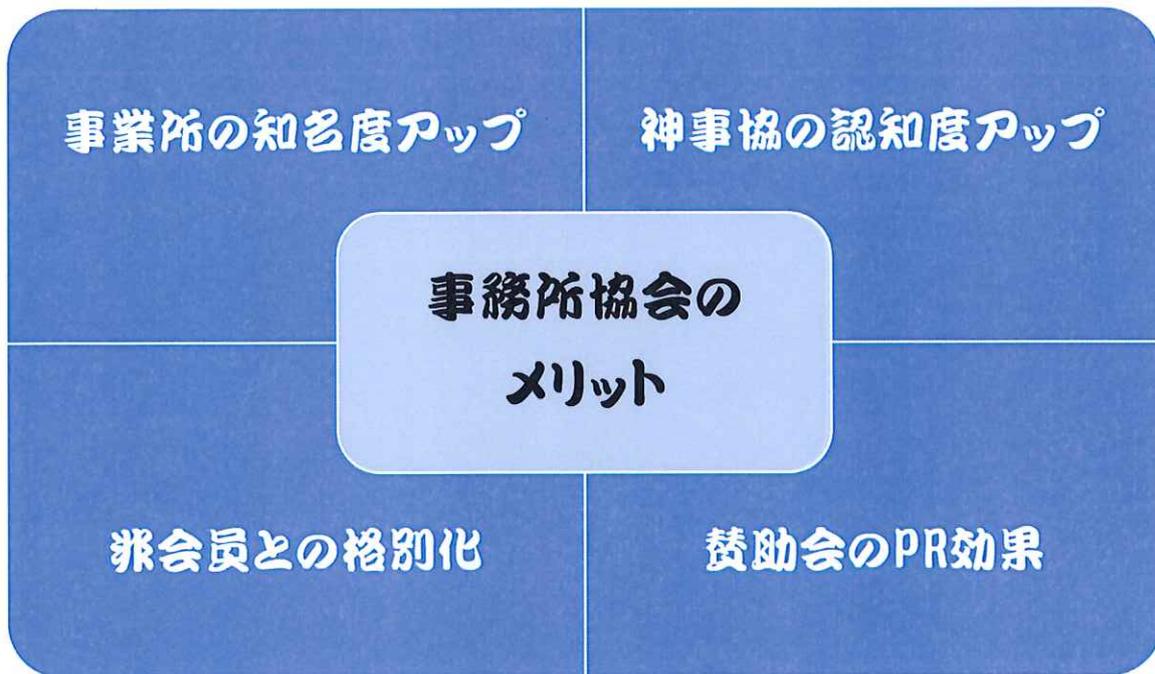
④価格・配布

- ・のぼり旗は2枚から購入していただく。
- ・のぼり旗に事業者名を入れることにより4,000円/本を予定。
- ・賛助会の名入り希望の場合、2,000円/本を予定。
- ・賛助会の名入りは2,000円/本を予定。設置はランダムにて行う。
- ・第一期配布は秋のイベントに合わせて9月下旬から10月中旬を予定。
- ・売上金に関して収支が増額になった際には、今後の青年交流委員会の活動に活用致します

(神事協)のぼりプロジェクト

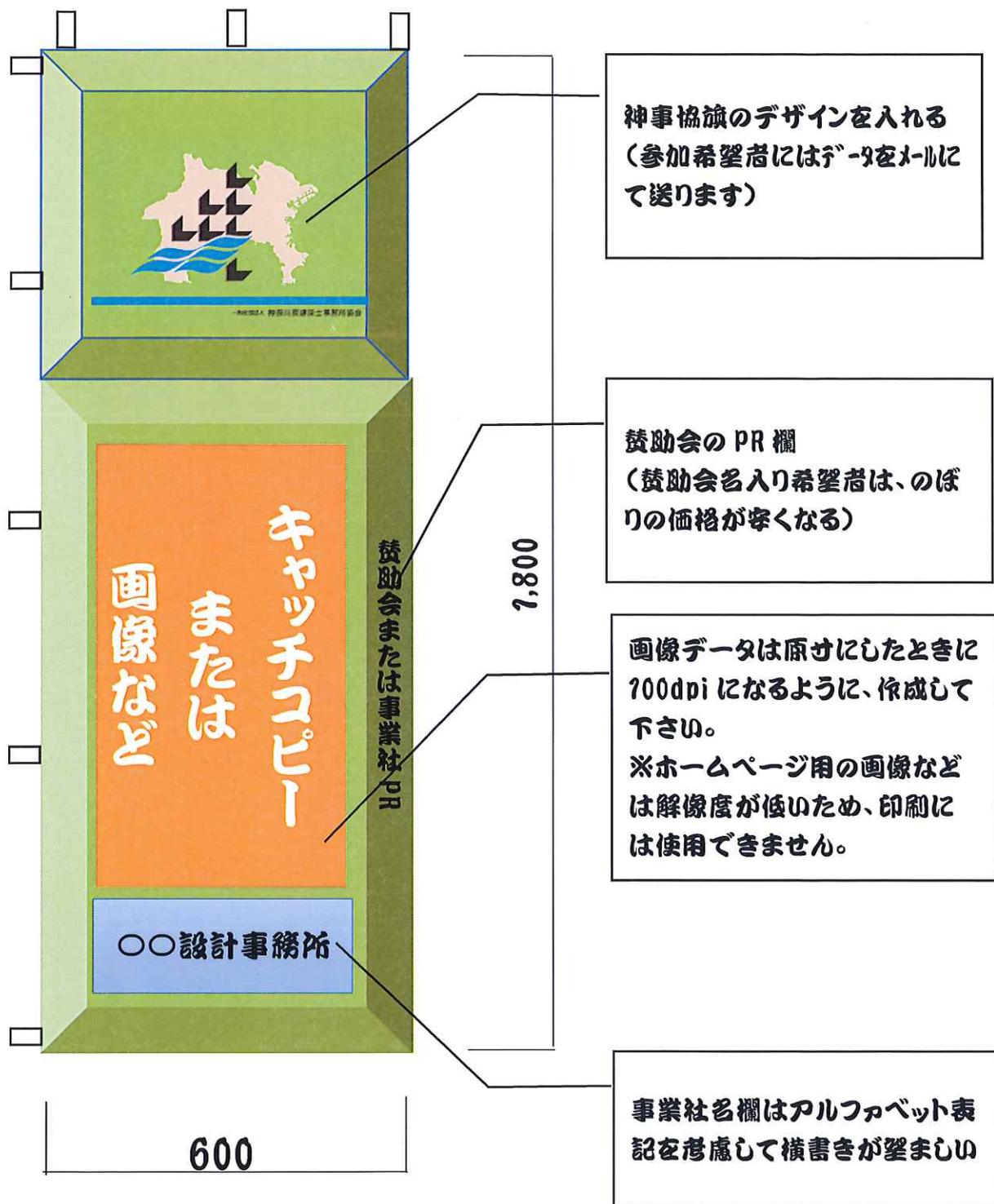
①主旨

- ・ 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会のエンドユーザーへの認知度アップ。
- ・ 事業者名を入れることにより非会員との格付けを図る。
- ・ 事業所や税場等に設置することで多くの方に興味を引くことができる。
- ・ 本会や地域のイベントにおいて存在をアピールすることができる。
- ・ 賛助会との協賛により相互のPR効果を図る。



②プロジェクト工程





※使用フォント及び色については参加希望者にデータをメールにて送ります

のぼり旗デザイン応募概要例

(一社)神奈川県建築士事務所協会 のぼり旗プロジェクト工程表

青年交流委員会 のぼり旗チーム

	5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20
構想・プラン	[Progress bar]											
業案・工程・主旨 作成	[Progress bar]											
見積もり	[Progress bar]											
のぼり旗デザイン 募集	[Progress bar]											
のぼり旗デザイン 決定	[Progress bar]											
第一期 のぼり旗 募集	[Progress bar]											
第一期 のぼり旗 校正	[Progress bar]											
第一期 のぼり旗 制作	[Progress bar]											
第一期 のぼり旗 配布	[Progress bar]											
青年交流委員会	[Progress bar]											
本会・理事会	[Progress bar]											
備考	[Progress bar]											

募集案の見積もり

HP・メール等にて募集告知

理事会・青年交流委員会にて決定

HP・メール等にて募集

校正確認期間

製作期間(土日除く15日間)

配布

青年交流委員会

7/20

理事会

9/21

理事会

5/15

理事会

6/1

神戸協総会

開催日時	平成 30 年 6 月 14 日 (木)	会 場	オービックビル 2 階 レンタルルーム (大会議室)
出席者 ()	担当副会長：小澤勝美 ブロック支部委員長：谷田康司 担当理事：矢後孝昭 委員長：森安啓司 副委員長：山口英生 委員：長友寛昌 菅股篤 横山尊重 岡崎秀祐 内田幸夫 中山裕次 寺本勉 青木一高 オブザーバー：株式会社(株) 森尻正志 二社(株) (代理 笠間基弘) 東豊 イスク化研(株) 山本晃裕 ケミュー 横山大樹 県西支部：支部長・長谷川匡 小林幸一 渡部雅行 山口雄 加藤一郎		

- 1) 谷田ブロック支部委員長挨拶
 森安委員長挨拶
 進行：矢後理事
- 2) オブザーバー紹介：県西 長谷川支部長より
- 3) 神事協総会・委員会報告の内容について 谷田ブロック支部委員長より報告がありました。
- 4) 活動内容の検討：A/B/C 各チームによるテーブル討議 (50 分)
 - A チーム「既存の建物をリノベーション」するワークショップについて (寺本・岡崎・長友・横山・横山)
 - スケジュールの確認、
 - 対象建物構造の検討として、木造住宅から選定する事とした
 - 前川邸・内田邸・林邸など有名な現存建物に絞込みをかけて行きたい。
 - 図面の入手が可能で、既存建物内部の調査が可能なものを検討したい。
 - 上記 3 点から絞込みを進めて行きたい。
 - a 耐震構造の考慮
 - b 断熱性能の考慮
 - c 使用用途の検討として、これからの使用用途のアレンジも検討できれば
 - 8~9 月で基本案の策定を行い、内容検討後に専門委員会内の時間でワークショップを行う事としたい。
 - 別紙資料参考の事
- B チーム「神事協のぼり」作成について (中山・青木・森尻・山本・x 内田)
 - 6 月 1 日に神事協情報メールより募集の発信がなされたが、6 月 14 日現在の募集がない。
 - 原因を考慮した結果、賞金 (商品) が無い事が食指を動かされない一因とも考えられるので、別添見積内容より、現金 20000 円の賞金案が出された。のぼり 1 セット無償提供の話等もあったが賞金での購入が通常考えられるので、見え方より賞金とすることとなった。(十分な検討を行った)
 - 再度統括委員長会議等を経て、変更した募集案を再度発信し、7 月 18 日の青年交流専門委員会にて決定する事となった。その後 7 月 20 日の理事会に提出する予定としている。
 - 正副会長会・統括委員長会にて
 - 1 のぼりの賛助会名が 1 社/枚なのは検討のよりがある。神事協ののぼりの場合は賛助会全体と考えると全社の名前が入るのが妥当ではないか？また、いつ賛助会の名前が入る事が決定しているのか？
 - 2 2 度目の募集で決定者への賞金 20,000 円の件ですが、現在参加者が 0 名なのに募集が増えるのか？また、もし 1 社しか応募がなかった場合はその 1 社に決定し、賞金を支払うのか？

との質疑がなされた。

これについて解答等を行うために、6 月 23 日時点で 2 回目の募集案内を中止した。

5 月 20 日の理事会にかけ、進めてきた企画で 5 月 30 日に 1 回目の募集をかけた時点で募集要項の内容は承認されていると考えています。2 の意見については、今後どのようにするか検討したいと考えています。

6 月 20 日に周知した、賛助会へののぼり旗賛助会協賛応募ですが、賛助会より全賛助会員分応募されるとの事が確認された。(添付申込書参照)

内容については次回の委員会で協議した上で再募集を掛ける方向性になっています。大きなところでは、賛助会協賛会社名の印刷方法で、1 社/枚ではなく数社/枚 (ランダム) にて印刷する方向で調整されています。

Cチーム「職業体験（受け入れ）」体制づくりに関して、青年交流専門委員会年間スケジュール及びイベントについて検討（森安・笠間（東代理）×菅股×山口）

「職業体験（受け入れ）」は別紙アンケート内容で各神事協会員にアンケートを行う事とし、発信スケジュール等は今後取りまとめていく。また、今後のスケジュールを次回提出する。

「青年交流 BBQ 懇親大会」として、別紙企画を具体的に進めていくこととして6月22日の正副会長会、統括委員長会議に上げる事とした。

正副会長会・統括委員長会にて

別添企画書内容通り、実施するために青年交流専門委員会についている予算を使用したく話を上げたが、青年交流専門委員会の飲食費として予算を使う事は難しい。一般会員募集を行った上で、通年自供の地引網大会のような企画の場合は本会計より予算をつけることも可能である。との意見があったようです。

企画書の書き方等についてももう一度検討し、再度7月20日の理事会にかけて承認を受けてからの募集の方向性です。

青年交流専門委員会の全体スケジュールの調整（案）の作成を行い、各委員に周知した。

6月22日以降、担当副会長・ブロック支部委員会委員長・担当理事によって、統括委員会のときに出た内容について、青年交流委員会委員長の意見内容を汲んでいただきながら改善案を提示していただいています。

5) その他

県西ブロック オブザーバーより感想を頂いた。

次回移動例会は 湘南ブロック担当とし、藤沢駅周辺にて7月18日（水）16：00～に決定した。

平成30年6月23日に正副会長会・統括委員長会後に、上記の意見があったことより一部の案件に対しては作業を中断し、ブロック支部委員会担当副会長・ブロック支部委員長・青年交流専門委員会担当理事・青年交流専門委員会委員長で検討を行って結論が出た時点で各委員に周知し、中断案件を再開する事としました。

③今後の展開について

- ・のぼり旗の他にステッカーや旗等、ノベルティを増やしてはどうか。
- ・使用した事業者、使用していない事業者へのアンケート等。
- ・のぼり旗を使ったイベントを実施する。

※20日の理事会で承認を得られましたので、別添の内容にて再募集とします。

C チーム「職業体験（受け入れ）」体制づくりに関して、青年交流専門委員会年間スケジュール及びイベントについて検討（森安・東・菅股・山口）

「職業体験（受け入れ）」は別紙アンケート内容で各神事協会員にアンケートを行う事とし、スケジュールを検討した。

- 1 アンケート内容については前回会議にて修正した通り
- 2 ~~現状の内容で7/20(金)の理事会にかける~~ 7/20（金）理事会にてアンケートを行う事を説明。
- 3 アンケートの頭紙は事務局フォーマットに倣って作成する(回答期限は配布から1ヶ月を想定)
- 4 窓口は事務局、集計は菅股が担当として行う
- 5 アンケートの結果から今後どのように働きかけるのかは今後検討を進める

「青年交流 BBQ 懇親大会」については、

- 1 青年交流専門委員会 企画検討予算については、委員のみの活動について利用するものである
- 2 共済会費の利用については、全会員・会員外に対してのイベントに対して活用するものであり、青年対象のイベントには利用できない
- 3 募集人員を絞ったレクリエーション性の高いイベントは開催が難しい。（※線引きが不明ですが。ただし、一般対象として募集要項の後半に青年対照である旨の記載をされることについては問題が無いのでは？という意見が出されました。）
- 4 収支予算内容をあいまいにした計画で、理事会で承認されれば開催することができる。

という意見がオブザーバー（理事）より出され、検討した。

※理事より、「青年交流委員会主催、青年対象を集めた検討会について、飲食費が入る事で予算を使うことについて問題ない」との意見も出ました。

今回の委員会では結論は出なかったため、その後の理事会に全体の方向性の意見を求める事にした。

※20日の理事会では、谷田ブロック支部委員長より説明 BBQ 懇親会を行いました。他の理事より

「BBQ イベントを行うのか、その他のイベントに切り替えるのかを決定してから理事会に上げて欲しい」との意見が出され、意見を求める事ができませんでした。

また、統括委員長会や理事会（報告事項ではなく、検討事項として扱う）で検討されるべきだとの意見が強く出されました。

この件を踏まえ、福田副会長より「話創会前なので、それに関した青年対象の懇談会を行ったらどうか」という意見も出されましたので、その方向に転換して企画を練り直そうかと考えています。

※BBQ 懇親会の趣旨として「青年等のイベントに子育て等で出席し難い方でも集まれる機会として開催する」という事がありますが、その点について周知が浅いのか「BBQ 懇親会」に対して、ただのレクリエーション飲食会と捉えられているような感じを受けていますので、そのあたりの理解度を深める案も必要かと考えています。

5) その他

今年の日事連話創会について、神奈川会より5名程度の出席が求められている事を周知した。

次回移動例会は 伊勢原にて 9月14日時間・場所未定 となった。

開催日時	平成 30 年 9 月 14 日 (金)	会 場	伊勢原シティープラザ
出席者 (○)	担当副会長：×小澤勝美 ブロック支部委員長：×谷田康司 担当理事：○矢後孝昭 委員長：○森安啓司 副委員長：○山口英生 委員：×長友寛昌 ○菅股篤 ○横山尊重 ○岡崎秀祐 ○内田幸夫 ○中山裕次 ○寺本勉 ○青木一高 オブザーバー：×タキロンマテックス(株)森尻正志 ×ニチハ(株)東豊 ○エスケー化研(株)山本晃裕 ○ケイミー横山大樹		

森安委員長挨拶
進行：矢後理事

1) 青年交流意見交換会中止についての説明

9 月 13 日の時点で、青年該当会員 2 名、賛助会より 3 名の出席だったため、意見交換会の趣旨に見合う人数では無いと判断し、急遽中止とした。会員所属の支部長、賛助会会長には中止報告の説明を委員長より行った。

委員会で、今後の内容についてどうしたら良いかの意見を出し合った。

- ・入会した会員に対するケアを行い、メリットを見出していただき、辞めさせない方策の一環として、メッシュ的なコミュニケーション環境を構築する基幹に青年交流を行えばいいと思う。
- ・社会貢献の意義を見出してもらい、ともに活動できれば。
- ・若手をさまざまな意味で引き上げるための組織作りが必要。
- ・賛助会としては、委員会の内容が当初わからないながらも、段々と理解することによって仕事に対するモチベーションも上げられる作用がある。

交流の目的として

- ・繋がる。

募集の方法

- ・事務的連絡では難しく、やはり最初は委員から近い人を誘う形がいいのでは？
 - ・若手（青年）をリストアップ化して委員会内容を発信していくようにし、興味を持ってもらい参加してもらう。
 - ・これまで出てきていない会員を引っ張り出すのは支部の活動からも難しい。まずは出てきている方を中心に誘えれば。
 - ・これまでの青年活動で動いた方たちに対して、再度働きかけをしたら？
 - ・委員長が各支部長に直接お願いする。
- などの意見が出された。

2) 平成 30 年 2 月 4 日開催の講習会実施について

伝統工法部会と協力して講習会を企画書通り実施することで意見統一を行った。

- ・基本的には B チームが主体となって進めていくが、当日の主催業務に関して会費請求はしないことを取り決めた。

3) 活動内容の検討：A/B/C 各チームによるテーブル討議（50 分）

A チーム「既存の建物をリノベーション」するワークショップについて（寺本・岡崎・横山・横山）

- ・内容検討に終始し、次回絞込みを行いたい。
- ・最初は皆が知っている前川邸あたりで進めるのがいいのでは？

B チーム「神事協のぼり」作成について（中山・青木・山本・内田）

別紙内容にて理事会に提出し、スケジュール通りに再募集を掛けるようにしたい。※若干の修正が入ります。

今後の展開について

- ・のぼり旗の他にステッカーや旗等、ノベルティを増やしてはどうか。
- ・使用した事業者、使用していない事業者へのアンケート等。
- ・のぼり旗を使ったイベントを実施する。

Cチーム「職業体験（受け入れ）」体制づくりに関して、青年交流専門委員会年間スケジュール及びイベントについて検討（森安・菅股・山口）

「職業体験（受け入れ）」は別紙アンケート内容で各神事協会員にアンケートを行った。

15名の回答があり、それに伴いまとめを行うこととした。結果10月19日の統括委員長会で発表していただく予定です。

「青年交流意見交換会」について、今後内容を精査し、再度実施していく企画を進めることとした。

4) その他

次回移動例会は 湘南三浦（横須賀）にて 10月16日（火）15：00～場所未定 となった。

開催日時	平成 30 年 10 月 16 日 (火)	会 場	ヴェルクよこすか横須賀市勤労福祉会館
出席者 (○)	担当副会長：×小澤勝美 ブロック支部委員長：×谷田康司 担当理事：○矢後孝昭 委員長：○森安啓司 副委員長：×山口英生 委員：○長友寛昌 ○菅股篤 ○横山尊重 ○岡崎秀祐 ×内田幸夫 ○中山裕次 ×寺本勉 ×青木一高 賛助会オブザーバー：○タクロンマテックス(株) 森尻正志 ×ニチハ(株) 東豊 ○エスケー化研(株) 山本晃裕 ○ケイミー横山大樹 横須賀支部オブザーバー ○比護友一 ○高戸憲一 ○小山将史		

森安委員長挨拶
進行：矢後理事

1) 話創会参加報告

菅股委員「参加者の熱気が強く、良い会だった。仲間創りに関して、今後の青年交流専門委員会のテーマとしても考えて行きたい」
 横山委員「女性参加についてなど、委員会でも考え付かないような話題があり、今後も様々な他会の青年イベント等に参加していきたいと感じた。」
 中山委員「具体的な青年の活動という観点から、神奈川会は一歩進んでいると感じました。今後も神奈川モデルとして発信していければ。」
 森安委員「開催 3 回目ということで、話創会の趣旨が浸透していると感じた。それは青年世代が危機感を持ち始めたということとも言えるので、動静を見ていきたい。また神奈川会でも皆に認められるような活動を行っていききたいと再度強く思いました。」
 矢後担当理事「他会では所属親会と同じような活動のところがあったが、神奈川会は独自で動いていると感じた。」
 来年は福島県開催ですが、多数の参加をしていただければと思います。

2) 来年度予算についての検討

親会の方針に則った予算計画の計上と、ルール of 把握について話し合った。
 来年度の活動計画について

- ・リノベ研修費
- ・職業体験見学会
- ・イベントシャツ製作
- ・青年育成・交流検討会費
- ・他会青年活動参加費
- ・青年事務所活動研修費
- ・見学会兼例会活動費
- ・会議費

などが挙げられた。

3) 活動内容の検討：A/B/C 各チームによるテーブル討議 (40 分)

A チーム「既存の建物をリノベーション」するワークショップについて (×寺本・岡崎・横山・横山)

- ・リノベ物件の絞り込みを行った。
 各自 4 物件の評価と各物件でできそうなリノベ改善項目の方向性を出し合った後、順位付けの投票を実施しました。

【結果】

- 第一位 前川國男邸：4 票
- 第二位 入母屋の家：3 票
- 第三位 内田祥哉邸：1 票

物件は【前川國男邸】に決定しました。

2. リノベの方向性としては、耐震性・断熱性は外せないという意見は全員一致。

その他、江戸東京建物園内にあるという立地条件から、公園内の施設としての用途変更のあり方も検討できる（オープンカフェ的な使い方など）という意見が出ました。
青年らしい提案も付け加えることでインパクトを付けたい。
（思い切って増築をしてその部分を構造補強要素として検討するなど・・・）

3. オブザーバーより

予算の設定をして、現実味のある提案が必要では？との意見が出ました

B チーム「神事協のぼり」作成について（中山・×青木・山本・×内田・森尻）
別紙内容にて進めることを確認。

C チーム「職業体験（受け入れ）」体制づくりに関して、青年交流専門委員会年間スケジュール及びイベントについて検討（森安・菅股・×山口・×東）

「職業体験（受け入れ）」アンケート内容確認とまとめ作業。

15名の回答があり、それに伴いまとめを行うこととした。結果10月19日の統括委員長会で発表していただく予定です。

賛助会と協力し、工場見学とともに勉強会・移動例会・交流検討会の実施について検討した。

4) その他

次回移動例会は 横浜にて 11月14日（水）15：00～場所未定 となった。

懇親会では、横須賀支部より多数の参加を頂き色々な意見を頂くことができました。

話創会でも感じましたが、良い意見は会議外で発信されることも多く、できるだけそういった貴重な意見も拾いながら進められればよいと感じました。

開催日時	平成 30 年 11 月 14 日 (水)	会 場	かながわ労働プラザ 第 9 会議室
出席者 (○)	担当副会長：○小澤勝美 ブロック支部委員長：×谷田康司 担当理事：×矢後孝昭 委員長：○森安啓司 副委員長：○山口英生 委員：○長友寛昌 ○菅股篤 ○横山尊重 ○岡崎秀祐 ○内田幸夫 ○中山裕次 ○寺本勉 ○青木一高 横浜支部オブザーバー：○鈴木武昭 賛助会オブザーバー：○タキロンマテックス(株) 森尻正志 ×ニチハ(株) 東豊 ○エスケー化研(株) 山本晃裕 ○ケイミュ横山大樹		

《議題》

1 のぼり旗デザイン決定

目的・一般社団法人神奈川県建築士事務所協会のエンドユーザーへの認知度アップとともに、事業所や現場に設置して、多くの方にアピールする。非会員との格付化を図り、会員メリットに結びつける

応募：9作品

事務局会議室展示による感想・気に入った作品記入 11枚

のぼり旗デザイン作成の目的に沿って、委員・賛助会オブザーバー合計14名は上記感想内容を各自が確認し、作品投票を行った。

同数2案が選ばれ、その2作品について意見交換を行い、各自が2点/人を持って再度厳選なる投票を行って、No1の案を採用することに決定しました。

応募要領に沿った、多少の修正点・ロゴマークの商標登録の確認事項を検討し、次ぎの工程に進むこととなった。

応募作品と決定作品については、次の理事会に報告することになっています。

2 次年度機構図（案）について

過日、支部長会議で発案された機構図（案）について、次年度以降の青年交流専門委員会として「青年部」とされているところについて意見交換を行った。

内容については多岐に渡り、色々な意見が出た。（抜粋意見）

- ・青年部としているのはなぜか？（※他意はなく全国の青年部と呼び方をあわせたためらしい）
 - ・この機構図によると、青年部の負担増になると思われるが、昨今の人口（会員）減を考慮すると仕方がないのかもしれない。
 - ・規約の改変は理事会が行うのか、当委員会が作成するのか。
 - ・もっと自由に動けるのではないか？反対に窮屈になるのでは？
 - ・当委員会は、若手から発議のあることを進めていくところであり、執行部から依頼をされて動く委員会ではないというところを理解していただいているかが疑問であり、そのような立ち位置に注意したい。
- など。

3 次年度予算計画について

別紙資料が予定として組まれています。

研修会内容については、青年らしい発議をし、会員向け研修を毎年通して何回（何年）を行っていくようにする意見が出て、検討していくこととなった。

移動委員会も1年半経過し、今後の活動内容の見直しに入ります。次年度は青年活動を拡大し、意見交換会、青年委員会員増を進めていく検討に入りました。

4 2月4日講習会の件

チラシ原案確認、手直し後に各会員へ発信することを確認。

伝統工法部会への協力要請は終わっているので、Bチーム主体で連携を撮りながら進めることを確認。

当日の講習会手伝いを行う委員については、伝統工法部会を含め、講習会参加費は取らないことを確認した。

5 12月20日の委員会成果報告会について
委員長が纏めて発表することを確認した。

6 次回委員会予定

平成30年12月19日（水）15：00～18：00 厚木（県央）開催（※その後忘年会実施予定）

以上

開催日時	平成 30 年 12 月 19 日 (水)	会 場	アミューあつぎ市民交流プラザルーム 608
出席者 (○)	担当副会長：×小澤勝美 ブロック支部委員長：×谷田康司 担当理事：○矢後孝昭 委員長：○森安啓司 副委員長：×山口英生 委員：○長友寛昌 ○菅股篤 ○横山尊重 ○岡崎秀祐 ○内田幸夫 ○中山裕次 ○寺本勉 ○青木一高 オブザーバー：○内藤照永 ○小宮山大祐 ○小幡剛志 賛助会オブザーバー：×タキロンマテックス(株) 森尻正志 ○ニチハ(株) 笠間基弘 ×エスケー化研(株) 山本晃裕 ×ケイミュー横山大樹 ○神事協・神奈川賛助会会長 安藤彰彦		

全体議事

- 1 来年度移動例会の活動について
来年度も同様に移動例会とすることで意見がまとまった。
例会順序について：横浜・湘南・川崎・県西・中・横須賀・県央・相模原。特別イベント等は除く
- 2 次年度の青年会員登録性について
企画書作成し、検討を進めることとする※本会理事(?)より同様の意見をいただいている。
- 3 賛助会参加数について
増員の方向で検討し(事務局と検討)ジョイント企画を多くする。
- 4 次年度青年交流専門委員会の機構図の位置づけについて
次年度活動に合わせてないよう検討を行う。
- 5 2月4日地域技術者が守る伝統的木造建築物講習会について
本会より指示があり、通例として講習会参加される委員(伝統工法部会含む)については参加費を支払うことになった。定員がはるかにオーバーしている場合については委員会として検討することとし、伝統工法部会長ともその方向性で打ち合わせしている。
- 6 12月20日委員会報告会の件について
のぼりの表彰を賀詞交換会で行えなくなったので、急遽、この報告会の中で行うことを確認した。
- 7 次年度の活動について
青年会員(仮)による検討会の実施
災害協定勉強会
青年委員登録性についての検討
※各委員会との横の繋がりについてどのようにコミュニケーション検討
- 8 平成31年度予算要求について
別紙資料参照(※後日、総財務より10%の見直しを求められましたので、部分変更しています)
- 9 各テーブル討議
《A チームテーブル討議》
前川國男邸で検討した 移築リノベ設定で東京江戸たても園のエントランス付近に立地 子供たちがたまる場所にして建築にも触れ合ってもらおう
詳細は次回。
- 《B チームテーブル討議》
- 1 『地域技術者が守る伝統的木造建築物』講習会周知の件
2月4日(月)13:30~17:30 横浜技能文化会館 2階多目的ホール 定員150名
(1) SNSでの周知活動
 - ・建築士会、ヘリテージマネージャー協会のグループラインにて周知する。
 - ・Facebook等、情報を拡散する。
 - ・神奈川県外の諸団体にも情報を流す。
 (2) 直接声掛けして周知する。
 - ・委員会報告会、賀詞交歓会等において、パンフレットを手渡しにて周知する。
- 2 『神事協のぼり』について
(1) 募集について
 - ・150社を目標とする

- ・各支部長に支部のツールとして購入・活用を図る。
- ・委員会報告会、賀詞交歓会等において、周知する。
- ・支部の承認期間が必要なので募集期間を延長する。

(2) 活用方法について

- ・のぼり旗を使ったイベントを検討する。
- ・現場見学会やイベントでの使用例を広報誌に載せる。

3 次年度について

製作品についてどんなものが良いか話しあった。

(1) 身に着ける物にてPRツールを製作

- ・Tシャツ等は好みがあって難しいのでは。
- ・季節限定になる可能性がある。
- ・作業スーツは面白いかも

(2) 現場や事業所にてPR

- ・防炎シートやターポリンによるPR
- ・確認看板のデザイン募集等
- ・のぼり旗で十分ではないか
- ・会員の章を製作

(3) 使用する物でのオリジナルノベルティグッズ製作

- ・文房具やクリヤファイル等、神事協オリジナル品を製作

(4) 販促品にてPR

- ・文房具やクリヤファイル等、神事協オリジナル品を製作し、エンドユーザーに配布PR

☆いずれにしても、問題点が山積であるため次回まで保留となった。

☆神事協のメリットに繋がるような活動が必要なのでは・・・

4 その他

(1) SNSを活用して、会員はもちろん、非会員または全国的に活動を発信してはどうか？

(2) 50歳以下をピックアップして会員となってもらい会員名簿を作製し、議事録もメーリングする。

(3) 卒業委員の継承を考えておく(各ブロック毎)

《Cチームテーブル討議》

- ・「職業体験に関するアンケート」からみる問題点、改善点より
 - ＞単体の事務所では規模によっては職業体験を受入れる余裕がない。
 - ＞ある時期の業務内容によっては体験内容に偏りができてしまう。
 - ＞関わるのはひと期間のみで一過的になってしまう。 …等
- ・職業体験だけでなく「出前講義」や「工作教室」等でも我々の仕事の魅力は伝えられるのではないか。
- ・各会員に呼びかけは難しいので、まずは委員で「出前講義」や「工作教室」を企画してみる。
- ・子ども向けWS企画としてAチームとコラボしても良いかもしれない。
- ・企画終了後は報告書にまとめ、会報へ載せて青年交流専門委員会のアピールも行う。

以上

平成 29・30 年度 第 15 回青年交流専門委員会 議事録

日 時 平成 31 年 3 月 12 日 (火) 15:00~18:00

会 場 かながわ労働プラザ 第 1 会議室

出席者 (○) 担当副会長 ○小澤勝美

ブロック支部委員長 ○谷田康司 担 当 理 事 ○矢後孝昭

委 員 長 ○森安啓司 副 委 員 長 ○山口英生

委 員 ○長友寛昌 ○菅股篤 ○横山尊重 ○岡崎秀祐

○内田幸夫 ○中山裕次 ○寺本勉 ○青木一高

オブザーバー 賛助会

×タキロンマテックス(株) 森尻正志 ×ニチハ(株) 笠間基弘

○エスケー化研(株) 山本晃裕 ○ケイユー(株) 横山大樹

1) 挨拶 委員長より

2) 東京会新年会参加報告・大阪会若手部会参加報告・・・ 資料 1

東京会については 5 名参加、各自が感想を発表。

大阪会に関しては森安委員長が参加、発表。

3) のぼり旗販売継続案報告・・・ 資料 2

『地域技術者が守る伝統的木造建築物』講習会報告及び会報掲載報告

・・・ 資料 3

基本的な方向として、半期に一度まとめて発注としたい。理由としては郵送費がかかり、利益
圧迫している状況のため。

今後もできるだけアピールしながら購入を勧めていきたい。

4) 次年度神事協組織改編

ブロック支部委員会へ意見書を提出する方向でまとめ、周知したところで提出する。

運営委員と青年部活動についての内容検討を進めないと総会後の検討になる場合、現在の活動
より変更になるため、空白期間ができる可能性がある。それは避けたい。

5) 次年度活動について及び展望について

青年活動として行っていきたいものとして

・新商品開発を賛助会と共に進めていきたい。その商品を販売して私益を上げられれば尚良い
かと思う。

・藤沢しごと展で使用した木軸組み立て小屋の出張イベントを組み込んで提案したい。

・次年度委員の勧誘について、そのようにしていったらいいかを検討したい。

6) 次年度青年該当者に対する登録案（正会員・賛助会員）について

SNS 等にて登録・発信できればいい。

7) ABC チーム活動について

A チーム：4 月よりリセットして継続展開していく

B チーム：ノベルティを練りながら進めていきたい。

のぼりについては地引網に展示を行いアピールしたい。

C チーム：「職業体験に関するアンケート」からみる問題点、改善点より

単体の事務所では規模によっては職業体験を受入れる余裕がない。

ある時期の業務内容によっては体験内容に偏りができてしまう。

関わるのはひと期間のみで一過的になってしまう。 …等

・職業体験だけでなく「出前講義」や「工作教室」等でも我々の仕事の魅力は伝えられるのではないか。

・各会員に呼びかけは難しいので、まずは委員で「出前講義」や「工作教室」を企画してみる。

・子ども向け WS 企画として A チームとコラボしても良いかもしれない。

・企画終了後は報告書にまとめ、会報へ載せて青年交流専門委員会のアピールも行う。

次回委員会 平成 3 1 年 4 月 17 日

平成 29・30 年度 第 16 回青年交流専門委員会

日 時 平成 31 年 4 月 17 日 (火) 14:00~17:00
会 場 鎌倉芸術会館 会議室 2
出席者 (○) 担当副会長 ×小澤勝美
 ブロック支部委員長 ×谷田康司 担 当 理 事 ○矢後孝昭
 委 員 長 ○森安啓司 副 委 員 長 ×山口英生
 委 員 ○長友寛昌 ○菅股篤 ○横山尊重 ○岡崎秀祐
 ×内田幸夫 ○中山裕次 ○寺本勉 ○青木一高
オブザーバー 賛助会
 ×タキロンマテックス(株) 森尻正志 ×ニチハ(株) 笠間基弘
 ×エスケー化研(株) 山本晃裕 ○ケイミュー(株) 横山大樹

1) 挨拶 森安委員長

(司会進行 矢後担当理事)

2) のぼり旗販報告

前回のまとめ配布を手渡しにしたので、郵送費分で収支がよくなっている。問題は郵送費。よって、今後の継続としては 6 か月でまとめて注文し、郵送費が利益を圧迫しないようにする。

地引網にて各支部ののぼりを持ち寄ってもらい、アピールする。(青年も 1 本出す) キャラクターなどをレイアウト出来る案の案内の作成を検討する。

3) 次年度活動について

意見書については、統括委員長会に提出して検討していただく。

総会で組織改編が行われると、委員も再編になると聞いていますので、それまでは新しいことを考えずに、基本的には既存計画をベースに進めるようにする。

4) ABC 各チーム内検討

A: 「既存の建物をリノベーション」するワークショップについて

対象: 前川國男邸 (前回決定)

内容: 来園する子供達を中心としたたまり場の創出と建築への関心をしかける

【これからの予定】

5月18日: サーベイを実施

6、7月頃: 企画検討、検討項目リストアップ

7、8月頃: 検討項目のワーキングメンバーを募集 (賛助会へオファーなど)

9月頃: WG 活動開始 (ミニシンポなど)

12月頃: とりあえず一度まとめ (ミニシンポなど)

3月頃: 成果品完成 (ミニシンポなど)

B: ノベルティー等制作チーム

1 『神事協のぼり』の有効利用と PR について

(1)神事協イベント、地域イベント等に掲げて一般市民に周知させる。

・支部長会において、地引網大会に各支部の『神事協のぼり』を持参して掲げてもらうことを周知した。

(2)広報・HP上での PR

・『神事協のぼり』を掲げて PR しているところの写真や状況を掲載する。

- (3)『神事協のぼり』のフリースペース欄の活用について
- ・地域の特色を生かすようなレイアウトにしてはどうか？
 - ・フリースペース欄の活用法についての周知不足があった。
- (4)事業者への購入PR

2 神事協のメリットに繋がるような活動。

- (1)困ったなリストを作成する。
- (2)業種別リスト作成について
- (3)賛助会のメリット繋がるような活動。

C：目標『建築業界の魅力を発信し「建築のしごと」への理解度を高める』こと。

～設計事務所の理解向上とみらいの建築を支える人材育成へ向けて～

- ・職業体験については引き続き受入れをした事務所の体験内容等情報を収集していく。
- ・収集した情報は今後どの事務所でも受入れをしやすくなるように手引き化できると良い。
- ・「出前講義」や「工作教室」について、まずは夏休みの宿題となる企画を練り7月末開催を目指す。
- ・Aチームの模型製作を企画に絡める等、他チームと連携を図った企画も検討を進める。

5) その他

青年交流専門委員会によるオリジナル商品開発のお話

日事連バスツアーの連絡 10/3 福島大会 及び 話創会出席に関しての連絡

男性のみの委員会ではバランスが良くないので、今後はそのあたりについて検討していきたい。

次回委員会 平成31年 5月29日 川崎ブロック

平成 29・30 年度 第 17 回青年交流専門委員会 議事録

日 時 令和 元年 5 月 29 日 (水) 16:00~18:00

会 場 川崎市総合自治会館 第 4 会議室

出席者 (○) 担当副会長 ○小澤勝美

ブロック支部委員長 ×谷田康司 担当理事 ○矢後孝昭

委員長 ○森安啓司 副委員長 ×山口英生

委員 ○長友寛昌 ○菅股篤 ○横山尊重 ○岡崎秀祐

×内田幸夫 ○中山裕次 ×寺本勉 ○青木一高

オブザーバー 川崎支部 ○理事 永島優子

オブザーバー 賛助会

○タロンマテックス(株) 森尻正志 ×ニチハ(株) 笠間基弘

×エスケー化研(株) 山本晃裕 ○ケイム(株) 横山大樹

1) 挨拶 森安委員長、小澤副会長、オブザーバー永島理事

2) ABC各チーム進捗状況・今後の進め方報告

A チーム「前川國男邸のリノベーションについて」

前川國男邸のリノベーションについて

先日の現地見学をふまえて、大まかではありますが敷地設定や建物の利用形態を話し合いました。

- * 子供達を中心に広く名建築にふれてもらう場とする、をメインテーマとする事を考えるとチケットのいらない園外の広場に移設するのが良い
- * 建物の構成としては中央吹き抜けサロン部分を半屋外的な空間として扱いあまり手をいれず現在の雰囲気そのまま残す方が良い
- * 東西両サイドのコア部分を屋内空間と考え断熱性や耐震性など環境面を高めていく。
- * 東ブロックはカフェなど。西ブロックはライブラリーなど。をイメージ
- * 中央サロンのブロックは外部空間とのつながりを強く意識し外構計画へとつなげて行きたい
- * 公園内の林などの周辺環境も利用した計画としたい
- * 併設する施設や断面計画は今後まとめていきたいがまだイメージがまとまらない
- * エクセルギーハウスの要素を取り込む意見も有りましたが、とっ散らかってしまうので要素をしぼった方が良いという意見も有り。

その他、オブザーバーで参加いただいた永島様からは、企画書的なものをつくり発表などする事をイメージしながら進めると良い。と助言いただきました。

B チーム「のぼり等ノベルティー制作等」

- のぼりは継続アピールして続けたい。もう少し表に出す機会はないか？利用・活用方法。
- のぼりを賛助会フェアに掲示したらどうか？
- 青年による実務上等の「青年・協会員」困ったリストを作って、青年で検討できたらいいのでは？

C チーム「建築業界の魅力を発信し建築の仕事への理解を高める」

- 夏休みの宿題「工作教室」の実施 (A チーム協力要請、前川邸紙模型ペーパークラフトの制作)
- 7月20日実施予定にしているので、企画書等制作して「工作教室」実施したい。

- 職業体験：専業・兼業のカリキュラムづくり
設計の仕事の流れ、自分の家の間取り製図～模型、現場見学（本物の体験）
委員内で実施できればレポート紹介したい。
- アンケートの集計を上手に利用したい。

3) 女性会員参加に対する活動方法の検討

参加しやすい活動方法を考える

子育て世代のイベント参加

休日イベント

WEB会議の実施の可能性を検討する。

※横の繋がりを持ちやすい環境を整える

4) イベント活動の諸注意について

オフィシャルであるものと、アンオフィシャルなものの線引きをきちんと引き、オフィシャルなイベントに対しては申請して必要な措置を講じることとする。

また、アンオフィシャルなものに対しては、神事協などの正式名称を謳うことはしてはならない件の周知。

5) その他

今後の青年活動について、意見聴取等

以上